

平成26年 網走市議会
経 済 建 設 委 員 会 会 議 録
平成26年9月1日（月曜日）

○日時 平成26年9月1日 午前10時00分開会
○場所 委員会室
○議件
1. 緑ダムにおける小水力発電の検討について
2. 8月24日の豪雨に伴う災害発生状況について
3. 網走市観光振興計画について
4. 秋季視察調査について
5. その他

○出席委員（6名）

委 員 長	佐々木 玲 子
副 委 員 長	小 澤 陽 平
委 員	工 藤 英 治
	栗 田 政 男
	古 都 宣 裕
	山 田 庫司郎

○欠席委員（0名）

○委員外議員（1名）

議 長	小田部 善 治
-----	---------

○傍聴議員（6名）

飯 田 敏 勝
金 兵 智 則
近 藤 憲 治
立 崎 聡 一
平 賀 貴 幸
松 浦 敏 司

○説明者

副 市 長	大 澤 慶 逸
経 済 部 長	今 野 哲 男
観 光 部 長	田 口 桂
建 設 部 長	石 川 裕 将
農 政 課 長	川 合 正 人
観 光 課 長	武 田 浩 一
観 光 部 参 事	二 宮 直 輝
土木管理課長	高 橋 勉

○事務局職員

事 務 局 長	佐 藤 明
次 長	吉 田 正 史
総務議事係長	岩 尾 弘 敏
係	菊 地 香代子
係	松 山 俊

午前10時00分開会

○佐々木玲子委員長 おはようございます。

ただいまより経済建設委員会を開催いたします。

本日の委員会は、緑ダムにおける小水力発電の検討について、8月24日の豪雨に伴う災害発生状況について、網走市観光振興計画についてと、秋季視察調査についての議件4件でございます。

まず1件目、緑ダムにおける小水力発電の検討についてを、農政課長のほうからお願いいたします。

○川合正人農政課長 それでは資料1号をごらん願います。

緑ダムにおける小水力発電の検討についてでございますが、近年再生利用可能エネルギーへの関心の高まりから、農業水利施設での小水力発電の導入につきましてさまざま検討が進められておりまして、国営畑地かんがい事業斜網地域維持管理協議会、こちら1市4町で管理している緑ダムについてでございますが、小水力発電設備導入の検討を実施するものでございます。

1、経過についてでございますが、今までの経過でございますけれども、平成25年に小清水町において小水力等農村地域資源活用促進事業案件形成事業によりまして、発電施設導入の可能性の有無の検討を実施しまして、その結果、緑ダムは安定した流量、大きい落差があり、小水力発電には道内でも有効な施設と見込まれるとの調査結果が報告されたところでございます。

このため、詳細な調査設計に取り組むため、小清水町が事業主体となりまして小水力等農村地域資源活用促進事業の概略設計支援及び協議手続支援を活用しまして、採算性の検討等を実施することとしたところでございます。

2、案件形成事業での検討結果でございますが、こちらが先ほども申しましたとおり、平成25年度に小清水町において実施した結果でございますが、発

電場所は緑ダムの放流ゲート横、清里町の清泉となっておりまして、次のページを開いていただきますと、真ん中に緑ダムの水路ルートという絵があると思うのですが、こちらの左下のほうの放流ゲート室横に設置をするということとなっております。

最大出力につきましては167キロワットということで、発電量は年間にしますと123万2,000キロワットとなっております。発電の売電の収入でございますが、年間で2,439万9,000円となっております。

建設費につきましては3億9,600万円となっております。

3の概略設計支援及び協議・手続支援でございますが、今年度実施する予定のものでございまして、事業費が560万円定額となっております。事業実施主体は小清水町で実施するという予定でございます。

4の今後の方向性についてでございますが、今回の概略設計支援及び協議・手続支援での詳細な調査・設計におきまして、コスト的にも有望で、国の補助事業等の活用、50%以上の補助事業ということをお前提にしまして、北海道の全面的な支援を受けることが可能な場合、協議会での協議のもと小水力発電設備の導入を進めていく方向となっております。

5の今後のスケジュールについてでございますが、平成26年度、概略設計並びに協議手続支援事業を実施。その後、その結果、平成27年5月ごろですが、斜網地域維持管理協議会での方針を決定することとなっております。

それ以降ですが、実施するという方向で決定した場合になりますが、平成29年から小水力発電設備導入事業を開始しまして、実施設計、発電施設の工事、送電施設の工事を実施する予定となっております。

その後完成しまして、平成32年から供用開始の予定となっております。

また、詳細の図面はまだないのですが、3ページ目に緑ダムの小水力発電の施設図も添付してありますので、あわせてごらんになっていただきたいと思います。

説明は以上でございます。

○佐々木玲子委員長 皆さんから質問ございますか。よろしいでしょうか。

○山田庫司郎委員 今、北電の電気料金も含めて値上げの申請が上がって、いろいろ説明会を含めて、これから結論が出るわけですがけれども、自然の力をかりて電気を起こしていくというのは非常にいい

形だと私も思っています。

そういう意味で、緑ダムの小水力発電は非常にクローズアップされてきていて、これからは地域性、地理的なものも含めれば、これよりさらに小さい発電も生まれてくる可能性は多分にあるのだろうと思うのです。概算だと思いますが売電収入が約2,440万円、建設費が3億9,600万円ということで、この事業でやれば補助が50%以上ということで説明がありました。

また、北海道との協議がきっと進められるのだと思うのですが、仮に半分になれば約4億円ですから、仮に50%の補助でまたプラスアルファ補助をもらえれば、これは非常にありがたいです。

例えば2億円を出してでも関係町村の協議会で議論して、それぞれ持ち出しをしながらやっていくという方向も最終的には議論するのだと思うのですが、単純に売電収入年間2,400万円、建設費が約4億円ということになれば、20年間かからないで単純に割り算すると18年か17年ぐらいで元がとれることにはなりますけれども、今こういうエネルギーの利活用ということも含めてあるわけで、ぜひ前向きに進めながら。

ただ、事業を実施するというときに市の持ち出しを含めて、どのぐらいになるのかということも考えなければならぬと思いますので、その辺も慎重に進めていただいて、ぜひ前向きな方向で実施をしていただければと思います。

それと、調査をしてこの緑ダムが適地だということで報告があったのですが、網走の場合は西網走地区の国営事業で卯原内ダムもあるのですが、小水力発電の検討の対象になり得るのかも含めて、もし今御答弁できる課題があればお話ししたいと思っていますし、ぜひ卯原内ダムを視野に入れて検討していただきたいと思います。

○川合正人農政課長 卯原内ダムの小水力発電ですが、こちら農政課で検討を進めておりまして、開発建設部に調査を依頼しております。

そうしますと、こちらは緑ダムとは違いまして、有効落差が緑ダムほどないということと、かんがい期と非かんがい期というところもありますので、流量もなかなか確保できないということで、現在の実績の取水量をもって発電した場合は還元できないという報告をいただいておりますので、卯原内ダムでは小水力発電というのは難しいというふうに考えております。

○山田庫司郎委員 この質問をさせていただいて即御答弁をいただいで、少し残念には思います。

ただ、これから小水力発電の技術も含めて、水田畑のところは小さな用水路で小水力発電もやっている経過もありますから、技術の進歩に伴ってまた卯原内ダムも可能性が生まれてくると思いますので、視野の中からなくさないようお願いしたい。

以上です。

○佐々木玲子委員長 このほかありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

では、以上で緑ダムについて、終わらせていただきます。

○佐々木玲子委員長 次の議件が8月24日の豪雨に伴う災害発生状況についてでございます。

説明のほうをお願いいたします。

○高橋勉土木管理課長 8月24日の豪雨に伴う災害発生状況について説明させていただきます。

資料2号をごらんください。

気象の概要ですが、8月24日北海道一帯を低気圧が覆い全道各地で大雨となり、網走市では20時から21時の1時間に27ミリの非常に激しい雨を観測しました。

この影響により、道路29カ所において法面崩壊、路面洗掘、土砂流出等の被害が発生しております。

請負工事を伴います被災箇所は、主な被災箇所に記載の市道二見ヶ岡甲線など4カ所であり、3ページ以降にはそれぞれ被災状況写真を添付しておりますので御参照いただきたいと思います。

現在被災箇所の復旧にかかる費用を積算、精査中でありますことを御報告申し上げます。

なお、被災が比較的軽微な残り25カ所の道路につきましては、既定予算内での対応を予定しております。

以上説明を終わります。

○佐々木玲子委員長 皆さんから何かございますか。よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○佐々木玲子委員長 次に、網走市観光振興計画についてを議題といたします。

6月2日開催の当委員会で観光課より説明いただきました網走市観光振興計画でございますけれども、時間をとっていただきたいというお声もありましたので、きょうの議題といたしましたので、皆さんか

ら振興計画について順次発言と思いますけれども、いかがでしょうか。

○山田庫司郎委員 委員会として議論できる場所を設定していただいて、心から御礼申し上げたいと思います。

せっかく審査会の中でしっかり議論してでき上がった振興計画ですから、これからの網走の観光の目安、目標ということになると思います。私も読ませていただいて、細かいことをどうだこうだという議論はしませんけれども、44ページが一番まとまった形で出てきているのだと思ひまして、例えば、短期できちんと取り組んでいこうという短期戦術という書き方をしていますし、あとは中長期ということで分けながら課題整理をされているようです。

今までも取り組んできた継続の形と、新たにこういうテーマを持ってやりましょうという新規の課題も挙げられています。今観光が一時期よりは入り込み数、それから宿泊を含めて、はっきり言って半減しているという状況で、いくらか外国人の観光客を含めて上向きにきているということはあるのだろーと思います。観光は網走の農業、水産業ともう一つの大きな柱の事業ですから、しっかり取り組んでいかなければならないと思っています。

それで、細かいことには一つ一つ触れないと言ひながらも、例えば今回花の関係で、網走に関連づけた形でやっていきたいという方向も出ていますし、食に対しておいしいという視点も含めてPRをしていこうと。こういう新たなというより、今までも取り組んでいます。新たに力を入れていきたいということが出ています。

これは市単独でやるということももちろんありますが、ここに書いてあるように、策定委員会にいろいろな階層の方たちが委員として加わっていただひいますから、この会議といいますかメンバーを含めて、これからも連携をするような会議を進めていきたいという文面もあったように記憶していますので、ぜひオール網走で取り組まなければならないという課題。

それから花を考えると小清水のユリがあつたり、大空のシバザクラがあつたり、上湧別のチューリップがあつたり、オホーツク圏という関係の流れかたも既に取り組んでいますけれども、圏という形の視野も含めてここでされているのだと思うのです。

それで、私も網走に住んで長いのですが、網走の食は何がおいしいのかと言われたら、余りにもおい

しいものがありすぎるのかどうか、自分の好き嫌いでは言えますけれども、これだというものが意外とありすぎてないのかと、思っているところもあるのです。

ここで本当にいろいろ力を入れてやってきているものを、食としてこれとこれとこれを行っていることを中心にしながら、観光というのはいい意味で差別化もしていかなければならないと思っていますので、ぜひ課題としてこれからどんどん進めていただきたいと思います。

それで短期、要するに平成26年度と来年27年度を含めて2年間でぜひという話がこの中に相当課題としてあるのですが、始まったばかりですからあれですけれども、何か今こういうものが具体的に動いているとか、2年間の中でこれがもう少ししたら動き出すのだというような、新たな何かはございますか。

○武田浩一観光課長 山田委員からの御質問ですけれども、まず平成26年度につきましては、既に行っておりますけれども、網走食のまちプロジェクト推進事業ということで進めさせていただいております。

これにつきましては、著名なタレントを軸といたしまして、テレビの放映、雑誌、札幌のホテルの網走の食材を使ったイベント、そのような形でクロスメディアを活用しながら露出を高めていき、ブランディング化をしていくというような形で既に実施をしているところでございます。

また、昨年度から行っておりますけれども、春のカニ祭り、秋のタラ祭りというようなことも含めまして、市民の意識の醸成も含めまして、市民、当然観光客もそうですけれども、観光客及び市民の意識の醸成という形でブランディング化していく方向で進めさせていただいているところでございます。

○山田庫司郎委員 春のカニ祭りも、ことしは天候が悪かったのですが、それでもかなり来ていただいているように思っていますし、秋のタラ祭りというのが去年から始まっています、これも新たなことでぜひこれからも進めながら、市民の参加もふえていくということも大事だと思いますのでお願いしたいし、テレビ、雑誌等と、それとホテルの場合は札幌のホテルオオクラとやっているものなのかと思うのですが、それを拡大していくのかどうかですが、いずれにしても平成26年、27年の間の短期の中できちんと整理をして、方向性を見出していこうという課題が結構あるので。

私が心配しているのは、関係するところの必ず最

後に丸印、二重丸で、かかわり、主体となって取り組む、進めるところが書いてあるのですが、やはり市と観光協会が非常に課題として多いのですが、このようなことを言ったら失礼な言い方になったら申し訳ないと思いますが、観光協会の体制も、なかなか日常の業務というところもある中で、この辺はどうなのでしょう、少し心配をしているのですが。

市の方もそうですけれども、イベントがあればしっかりかかわっていかなければならないということと、計画やいろいろなことはしっかりやっていかなければならないというという側面を持っていますので、その辺の体制の問題はいろいろなことをやる時には大丈夫でしょうか。

○武田浩一観光課長 まず、食の関係でホテルオオクラという話がありましたが、現在食のまちプロジェクトで行ったのは札幌のパークホテルでのイベントという形になっております。

またイベント、観光を推進するに当たり、観光協会との体制を含めてというお話でしたけれども、当然ながら網走市の観光部、観光協会、それに市内の観光関連団体はもちろんのこと、市民も含めていろいろな形でかかわり合っていて、その中で補完し合いながら行うような体制づくりというのを強化していきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願ひしたいと思っております。

○山田庫司郎委員 少し心配だったので、余計な心配だったら一番いいのですけれども。

今、課長から言われたように、策定委員会のメンバーも各階層から出られていますから、言ってみれば観光というのはおもてなしも含めて、市民の皆さんでそれぞれがそういう意識を持つことによって、市民以外の方が網走に来ているときの対応というのは少しの心がけだと思うので、そういう意味では団体との連携ももちろん必要ですけれども、イベントというのはやはり市民が参加をしてくれて楽しいというイベントが、それが近隣に広がって、また遠くに広がって、それが大きなイベントになるということが一番いいのだと思います。

ただ、トップダウンでこういうイベントをやって呼ぼうということも事業としてやらなければならないときももちろんあるわけで、その辺のめり張りを含めていろいろあると思うので、平成26年、27年の2年間で相当な課題整理をしながら方向性を見出していく。

それと中期、長期のものも課題としてあります。いずれにしても、流氷館が新しく来年の8月オープンになるということも含めて、ぜひそれを勢いにし、網走マラソンもぜひ成功に終わらせて。マラソンというのは初年度、第1回目が大事だと聞いていますので、来年いろいろな課題が出てくるのかも知れませんが、この振興計画をもとに、観光がやはり網走にとって3つの柱がさらに太い柱になるよう振興計画の実施に向けてぜひ努力をお願いして、私の質問を終わりたいと思います。

○佐々木玲子委員長 そのほか。

○古都宣裕委員 基本的な中でオンリーワンの戦略等々があるのですが、その中で食のオンリーワンとあるのですが、オンリーワンとするならば、余りにも変わった趣向になるか、既存のものの中でも特段おいしいものになるかの、どちらかの系統になってくると思うのですが、余りにも奇抜すぎてもそれをPRするのに時間はかかるでしょうし、また同じものの中で特段おいしいとなっても食の中で順位づけというのがものすごく難しいとは思いますが、その中でその戦略をどう持っていくかというのが気になるのですが、どちらで考えているのでしょうか。

○武田浩一観光課長 食の素材のお話なのかとおっしゃいますけれども、確かに網走市におきましてはいろいろな豊富な食材がございます。

今までにつきましても、民間の団体が網走ちゃんぽんや網走ザンギ丼など、いろいろな形でやっていたところがございます。

それにつきましても、応援をしていながら、また新たに網走の食材を商品化等につなげていくような形で持っていければと考えているところでございます。

○古都宣裕委員 それだと今やっているものと、そんなに変わりばえはしないのかと思います。だから規定の路線でいくのだなというのがわかりますけれども。

あと、宿泊のほうで、オンリーワンの戦略等々がある中で、泊ってこそ楽しめる網走とあるのですが、泊るからこそ楽しいのだけではなくて、カスタマーの選択性を失わせるような形ではなく、逆に例えばこちらからディズニーランドなどに行くならば、日帰りの細かい時間ではなくて、せっかく東京とかあちらまで行くのだから泊って楽しもうという向こうからの選択があって楽しむような形であるほ

うが私は望ましいと思うのですけれども。

せっかく網走に来て何々するのなら泊ったほうがいいよね、何々があるから泊って長い時間楽しもうというような方向性であるのかどうなのか、またそれだったらどういう形を考えているのかというのを知りたいのですけれども。

○武田浩一観光課長 泊まってこそ楽しめるということにつきましては、当然いろいろなメニュー等の開発が必要になってくると思います。

ことしでいえば、朝散歩という泊まった方が朝、ガイドさんにまちの風景、様子等をガイドしていただきながら、水産会社になるのですけれども、そちらでゆでたてのカニを食べるという事業メニューを展開しているところでございます。

そうした観光客の選択肢をふやしていきながら、宿泊につなげていくというような形で、推進していきたいと考えているところでございます。

○古都宣裕委員 今お話があつて、この資料も読ませていただいたのですが、竹田城などで雲海を見たらマチュピチュのようだというようなこともあるように、網走でも実は天都山から雲海が見れたりということもありますし、朝のネイチャークルーズを出してみたりなど、いろいろなやり方もあるとは思いますが。

その中でいろいろな選択枝を観光客のほうに選ばせながら、魅力の発信に努めていただきたいと思います。

あとは、オンリーワンの戦略のところ、網走のオンリーワンの目玉としてどのようなものを考えているのかというのがよくわからなかったもので、それを説明願います。

○武田浩一観光課長 オンリーワンという中でも、いろいろなオンリーワンがあるかと思いますが、ここにそのオンリーワンの開発の中で、例えば⑥の新規になりますけれども、オホーツク文化、モヨロ貝塚ですとか、博物館網走監獄ですとか、水鳥湿地センターなど網走ならではのものもございますので、その一つ一つがオンリーワンになると。また、現在建築しています天都山展望台・オホーツク流氷館につきましても、強いオンリーワンになっていくと考えているところであります。

○古都宣裕委員 最後に、知名度が落ちてきているというので、高齢者層からは知名度が高いけれども若年層には落ちているというのがデータとしてははっきりしていると。これは明らかに昔映画などでたく

さん取り上げられたのが、今はないというのが影響していると思うのですけれども、それによってわかるのがメディア等の有効性だと思うのですけれども、今後の戦略として若年層に、テレビで1回2回映りましたというのでは継続的なものではないですし、映画で有名になったなどという部分で、例えば中国で映画をつくったときにこちらの道東にすぐ流れてきましたけれども、そういった部分で何か考えているというのはあるのでしょうか。

○武田浩一観光課長 映画等の誘致というのは今具体的には考えておりませんが、当然映画の誘致という部分につきましても一つの選択肢になるということは考えています。

今の委員のほうから意見がありました中国の非誠勿擾という映画につきましては、中国の観光客の方がそれを目的に多く来られたという実績もございますので、いろいろな要素を含めながらいろいろな形で観光客をふやすということは戦略を立てていきながら進めていきたいと考えております。

○古都宣裕委員 メディアの有効性についてはお互い十分に認識しているところだと思うのですけれども、例えばドラマのワンシーンなどでもいいから誘致できるような積極的な誘致を試みていただきたいと思います。

以上です。

○佐々木玲子委員長 そのほかございますか。
よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

では、特にほかにないようですので、網走市観光振興計画については、以上で終了いたしたいと思います。

○佐々木玲子委員長 次に、秋季視察調査についてを議題といたします。

まず、秋季視察調査を実施するかどうかについて、皆さんから御意見を伺いたいと思います。

○古都宣裕委員 秋季視察調査について、実施目的がしっかりしたものであるのであれば実施すべきですし、ただ見ましようという通年どおりという話であれば、別にやらなくてもよろしいのかと思います。

○佐々木玲子委員長 ほかの皆さんは、いかがでしょうか。

○栗田政男委員 しっかりと視察する内容を精査して、やるべきであると思います。

○佐々木玲子委員長 ほかの委員はいかがですか。

○山田庫司郎委員 視察ですから、ただ見てきているわけではないので、それなりに毎年同じことをやっても、それは現況を見たり年々の変化などいろいろなこともわかるわけですから、秋季視察調査で従来はサケの関係など、いろいろ見てきている経過がありますが、それにこだわることはないと思いますけれども、ぜひ調査項目をしっかりと整理をして実施をするべきだと私は思います。

○佐々木玲子委員長 ほかにいかがですか。

○工藤英治委員 足すものがあって引くものがあったてもいいですが、例年と同じであっても例年と同じだという確認のためにも、例年どおりの視察はするべきだと思います。

○佐々木玲子委員長 それでは、まず例年どおりの形であっても調査をすべきだと。また、それをさらに深めて具体的にきちんと調査項目を精査した上で行うのであれば、そのほうがいいではないかと。

全体的には調査は行うという方向で、私としては理解したいと思いますが、そのような形で。

あとは内容につきましては、特に御二人からきちんとした具体的な項目等というお話がございましたので、それぞれ御意見がありましたら、ぜひ御発言いただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○山田庫司郎委員 具体的な提案、工藤委員からは従来の形でもぜひやるべきだということですし、私もそれはそれでもいいし、一回白紙にしてもいいので、調査項目をきちんと決めてやるべきだし、去年まで見ているものも課題としてやっても私は十分意味があると思いますから。どれこれというふうには今思っていないけれども。

確かにサケが9月6日から始まりますから、そのとれぐあいがどうなのだろうということも例年見えていますから、見させていただくのもいいかということで、一つの案としてお話ししますが、ぜひ皆さんからあればその検討を含めて正副委員長に任せたいと思います。

○佐々木玲子委員長 どうでしょうか。

ほかに意見がありましたら。

○山田庫司郎委員 正副委員長に任せてもいいということで整理をしていただければ、それでいいですが、例えば今回も小規模でありますけれども前回のときを含めて災害現場もございますし、非常に雨が降ったとき駒場の一地区、つくし地区でも大変な状況があったのですが、対策の工事が進むことによって今回の雨でもそういう影響がなかったということ

も聞いていますから、一つの案としてそういう現場を見ることもいいのかもしれない。

○佐々木玲子委員長 ほかに特にならなければ、皆さんから今出た意見を勘案しながら。例年の視察調査については大体これまでも平成21年、22年、23年はまず感動朝市から始まって、競りを見て、あとはそれぞれその時々具体的な課題について見てきたという経過があります。

平成24年、25年は感動朝市が終了した後の視察の日程、大体10月に行っていましたので、感動朝市はなく、競りから始まったというような経過もございます。

そういうところで、それではこれから皆さんから今出た意見を勘案しながら、正副委員長のほうで内容的にはしっかりと具体的に決めさせていただくという方向でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

そうしますと、今度は日程の関係になりますけれども、大体いつごろの日程がいいか、皆さんから意見をいただきたいと思いますけれども。

○工藤英治委員 視察箇所等を正副委員長で練ってそれに合わせて、議会開会中も含めて一番いい日程を提示してもらえれば、その中から検討するのが早いのではないかと思いますけれども。

場所が決まらないうと、それはもう終わっているよとか、それはまだ早いよということになります。

一番いい方法というのを見つけ出して、提示してもらえればと思います。

○佐々木玲子委員長 工藤委員から視察先も含めて、それに適切な日時を提示していただいたほうがいいのではないかと意見が出ていますけれども、そのような形で内容と実施日程等についても、こちらのほうである程度予定をつくらせていただいてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、決まり次第もう一度皆さんにお諮りしたいと思いますので、秋季視察調査については正副委員長でこれから検討させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○佐々木玲子委員長 次にその他ですが、7月1日の当委員会におきまして、工藤委員より配付提案のありました女性の目線で網走観光を再構築アンケートというような内容で、委員会としてやるのかどうなのかという提案がありましたけれども、皆さんの

ほうで会派に持ち帰った結果、このアンケートについてはどのような方向性が出たか、御意見をいただきたいと思います。

○工藤英治委員 6人の委員が持ち帰って議論したような経過も見受けられないのですが、私自身も提案してから日がたちました。

そして、委員会で決定して調査権という形でやるのかいろいろ考えましたが、実際問題9月議会が終わって、さらに改選期等を考えあわせると、アンケート調査したものをどのように活用するかという時間がなさすぎるような気がするので、この件に関しては逆に私のほうから一回取り下げて、再度また機会があればということで、取り下げさせていただいたほうがいいかと思っております。

○佐々木玲子委員長 工藤委員から、提案からちょうど2カ月たったわけですがけれども、さまざまな事情を考えると、とりあえず一度取り下げたほうがいいというお声が出ていますけれども、それでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

では、この件につきましては、また何らかの形でできればということで、今回は一度この件に関しましては、取り下げということを皆さんで了解していただきたいと思います。

○佐々木玲子委員長 それでは、その他につきましては理事者側から何かございますか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

委員から、そのほかございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

以上で、経済建設委員会を終了いたします。

午前10時39分閉会
